

二〇二六年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年2月23日(月)

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。解答は、解答欄に縦書きで記しなさい。

【引用部分は削除しています】

二〇二六年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:日本語)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年2月23日(月)

【引用部分は削除しています】

(金田雄次『日本人の意識構造』による)

二〇二六年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程) 入学試験問題
 (文学研究科 全専攻共通)

(科目名:日本語)

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問一 二重傍線部 a く e の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

問二 破線部 アーコ のカタカナを漢字で書きなさい。

問三 空欄 [X] に挿入する語句として、最も適当なものを、①～③から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 鼻と目 ② 香りと味 ③ 舌と目

問四 傍線部①「たれでも持ったような、この経験」とは、【A】の経験(料理の話題)と、【B】の経験(N君の話題)を指します。【A】の経験と【B】の経験の共通点を説明しなさい。

問五 傍線部②「猫を見て虎にしていたら、今度は虎を見て猫と同じと思ってしまう」とありますが、どのようなことを意味していますか。後に書かれている「ヨーロッパの森」の例を使用して説明しなさい。

問六 傍線部③「ほどこして」とありますが、「ほどこす」という語を本文中と同じ意味で使った短文を作りなさい。ただし、「細工をほどこす」という表現にはしないこと。

問七 傍線部④「日本では騎馬戦は、ヨーロッパ的な意味ではもともと不可能だったのだ」とありますが、なぜそうと言えるのか、理由を説明しなさい。

問八 本文全体を踏まえ、あなたの出身国・地域の人たちが、日本のことを研究する際に注意したほうがいと感ぜられる具体例を一つ書きなさい。また、なぜその例を挙げたのか説明しなさい。

二〇二六年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:日本語)

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

解答

問一

a	b	c	d	e
---	---	---	---	---

問二

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ

問三

--

問四

--

問五

--

二〇二六年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 全専攻共通)

(科目名:日本語)

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問六

--

問七

--

問八

--

得点

--

2026年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 仏教学専攻)

(科目名:文献読解(パーリ語))

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題 以下のパーリ文を日本語訳しなさい。

atha kho bhagavato rahogatassa paṭisallīnassa evaṃ cetaso parivitaḅko uḁapādi:
adhigato kho my āyaṃ dhammo gambhīro duddaso duranubodho santo paṇīto
atakkāvacaro nipuṇo paṇḁitavedanīyo. ālayarāmā kho panāyaṃ pajā ālayaratā
ālayasammuditā. ālayarāmāya kho pana pajāya ālayaratāya ālayasammuditāya
duddasaṃ idaṃ ṭhānaṃ yad idaṃ idappaccayatā paṭiccasamuppādo, idaṃ pi kho
ṭhānaṃ sududdasaṃ yad idaṃ sabbasaṃkhārasamatho sabbūpadhipaṭinissaggo
taṇhakkhayo virāgo nirodho nibbānaṃ. ahaṅ ceva kho pana dhammaṃ deseyyaṃ
pare ca me na ājāneyyuaṃ, so mama' assa kilamatho, sā mama' assa vihesā 'ti.

得点

二〇二六年度 外国人留学生 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 仏教学専攻)

(科目名:文献読解(仏教漢文))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年2月23日(月)

【問題】 次の漢文を読んで、以下の問に答えなさい。

迦葉當知。如來是諸法之王。若有所說皆不虛也。於一切法。以智方便而演說之。其所說法。皆悉到於一切智地。如來觀知一切諸法之所歸趣。亦知一切衆生深心所行。通達無礙。又於諸法究盡明了。示諸衆生一切智慧。迦葉。譬如三千大千世界。山川谿谷土地所生。卉木叢林及諸藥草。種類若干名色各異。密雲彌布遍覆三千大千世界。一時等澍其澤普洽。卉木叢林及諸藥草。小根小莖小枝小葉。中根中莖中枝中葉。大根大莖大枝大葉。諸樹大小隨上中下。各有所受。一雲所雨稱其種性。而得生長華菓敷實。雖一地所生一雨所潤。而諸草木各有差別。迦葉當知。如來亦復如是。出現於世如大雲起。以大音聲普遍世界天人阿脩羅。如彼大雲遍覆三千大千國土。於大衆中而唱是言。我是如來應供正遍知明行足善逝世間解無上士調御丈夫天人師佛世尊。未度者令度。未解者令解。未安者令安。未涅槃者令得涅槃。今世後世如實知之。我是一切知者。一切見者。知道者。開運者。說道者。汝等天人阿脩羅衆。皆應到此。爲聽法故。

(『妙法蓮華經』卷三より抜粋)

【問一】 この漢文に書かれている内容について解説しなさい。

【問二】 傍線部を日本語に訳しなさい。